



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部 本部長 (氏名) 日笠 基 TEL 03-6222-2852
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 4,797 | △22.7 | 78 | △88.4 | 11 | △98.8 | 12 | △97.6 |
| 2019年3月期第1四半期 | 6,203 | 8.6 | 675 | 48.3 | 923 | 98.3 | 496 | 112.1 |

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △93百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 613百万円 (65.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第1四半期 | 1.07 | 1.07 |
| 2019年3月期第1四半期 | 45.82 | 45.72 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第1四半期 | 26,619 | 18,793 | 70.4 | 1,711.74 |
| 2019年3月期 | 28,385 | 19,638 | 69.0 | 1,717.90 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 18,751百万円 2019年3月期 19,594百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | - | 18.00 | - | 20.00 | 38.00 |
| 2020年3月期 | - | - | - | - | - |
| 2020年3月期 (予想) | - | 20.00 | - | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 23,600 | △1.2 | 1,100 | △29.1 | 1,100 | △39.6 | 770 | △26.6 | 70.28 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期1Q | 11,554,200株 | 2019年3月期 | 11,554,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期1Q | 599,548株 | 2019年3月期 | 148,248株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年3月期1Q | 11,204,489株 | 2019年3月期1Q | 10,834,485株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化や、英国のEU離脱をめぐる長引く不透明感などの困難な状況の下、全体として停滞感や減速感を強めつつ推移しました。

わが国経済においては、個人消費は底堅く推移しているものの、輸出を中心に弱さが続き、先行き不透明感が強く残っております。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、差別化のできる高付加価値な汎用製品及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、より特化した特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めてまいりました。
- ・製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、グループ内の製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと納期対応の実現に取り組みました。
- ・地域に密着した営業体制を進め、海外販売子会社における営業・技術サポート担当者の充実を図り、顧客の要望や製品企画への迅速な対応と営業基盤のより一層の強化に努めました。
- ・関西技術センターの解析力を活用するとともに、協力工場との一層の関係強化を進め、産業機器や車載製品等のターゲット市場を意識した品質保証体制と各種認定制度への対応を図りました。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- ・製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のため、フェニテックセミコンダクター株式会社本社工場の第一工場への統合を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高47億97百万円（前年同期比22.7%減）、営業利益78百万円（前年同期比88.4%減）、経常利益11百万円（前年同期比98.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円（前年同期比97.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器、車載分野向けの売上が減少したことにより、32億44百万円（前年同期比28.2%減）となりました。

②アジア

当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に車載分野向けの売上が増加しましたが、産業機器分野向けの売上が減少したことにより、12億52百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

③欧州

当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に家電分野、産業機器分野向けの売上が減少したことにより、1億71百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

④北米

当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が減少したことにより、1億28百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は181億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億14百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が16億26百万円減少したことによるものであります。固定資産は84億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が73百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、266億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億65百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は54億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億60百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2億82百万円、賞与引当金が2億65百万円減少したことによるものであります。固定負債は23億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億60百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億74百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、78億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億21百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は187億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億44百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が2億17百万円減少し、自己株式が5億21百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.4%（前連結会計年度末は69.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました業績予想を据え置いております。

米中貿易摩擦など事業環境は依然として厳しい状況にありますが、一部では受注状況の改善などの変化が見られており、これらの状況変化に対応するための諸施策を検討、実施しております。引き続き、市場の動向など各種情報の収集に努め、精査を行い、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

なお、業績見通しは本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,982,083 | 9,355,799 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,016,502 | 3,553,134 |
| たな卸資産 | 4,601,888 | 4,847,855 |
| その他 | 308,789 | 436,645 |
| 貸倒引当金 | △2,604 | △963 |
| 流動資産合計 | 19,906,658 | 18,192,471 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 6,249,033 | 6,264,462 |
| 無形固定資産 | 456,767 | 462,882 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,799,591 | 1,725,388 |
| 貸倒引当金 | △26,396 | △25,395 |
| 投資その他の資産合計 | 1,773,195 | 1,699,992 |
| 固定資産合計 | 8,478,995 | 8,427,337 |
| 資産合計 | 28,385,653 | 26,619,808 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 909,520 | 842,490 |
| 短期借入金 | 1,902,775 | 1,902,694 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,021,033 | 992,908 |
| 未払法人税等 | 326,813 | 43,860 |
| 賞与引当金 | 388,064 | 122,593 |
| その他 | 1,662,337 | 1,545,319 |
| 流動負債合計 | 6,210,544 | 5,449,867 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,747,536 | 1,572,538 |
| 退職給付に係る負債 | 414,156 | 405,014 |
| 株式給付引当金 | 33,566 | 36,230 |
| その他 | 341,753 | 362,248 |
| 固定負債合計 | 2,537,012 | 2,376,031 |
| 負債合計 | 8,747,556 | 7,825,898 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,967,934 | 2,967,934 |
| 資本剰余金 | 8,302,952 | 8,309,859 |
| 利益剰余金 | 8,606,806 | 8,389,733 |
| 自己株式 | △206,316 | △728,127 |
| 株主資本合計 | 19,671,377 | 18,939,400 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △87,404 | △138,805 |
| 為替換算調整勘定 | 74,061 | 11,126 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △63,720 | △60,138 |
| その他の包括利益累計額合計 | △77,063 | △187,816 |
| 非支配株主持分 | 43,783 | 42,326 |
| 純資産合計 | 19,638,097 | 18,793,910 |
| 負債純資産合計 | 28,385,653 | 26,619,808 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 6,203,204 | 4,797,479 |
| 売上原価 | 4,282,182 | 3,528,203 |
| 売上総利益 | 1,921,022 | 1,269,276 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,246,009 | 1,190,731 |
| 営業利益 | 675,012 | 78,545 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 11,684 | 10,371 |
| 為替差益 | 235,806 | — |
| ロイヤリティ収入 | 1,680 | 827 |
| 受取賃貸料 | 6,382 | 7,578 |
| その他 | 5,873 | 2,590 |
| 営業外収益合計 | 261,427 | 21,368 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,820 | 6,285 |
| 為替差損 | — | 78,589 |
| 支払手数料 | 2,000 | 2,000 |
| その他 | 2,674 | 1,575 |
| 営業外費用合計 | 12,495 | 88,450 |
| 経常利益 | 923,944 | 11,463 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | 2,255 | — |
| その他 | 231 | — |
| 特別利益合計 | 2,487 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 3,713 | 998 |
| その他 | 66 | — |
| 特別損失合計 | 3,779 | 998 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 922,651 | 10,464 |
| 法人税等 | 279,802 | △1,412 |
| 四半期純利益 | 642,848 | 11,877 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 146,405 | △169 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 496,443 | 12,046 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 642,848 | 11,877 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △60,298 | △41,654 |
| 為替換算調整勘定 | 33,406 | △64,222 |
| 退職給付に係る調整額 | △2,232 | 743 |
| その他の包括利益合計 | △29,125 | △105,133 |
| 四半期包括利益 | 613,723 | △93,256 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 481,812 | △91,799 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 131,911 | △1,457 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式451,300株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が521,811千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が728,127千円となっております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期 連結損益計 算書 計上額 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 日本 | アジア | 欧州 | 北米 | 合計 | | |
| 売上高(注2) | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,518,206 | 1,284,160 | 229,025 | 171,811 | 6,203,204 | — | 6,203,204 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1,479,799 | 86,656 | 7,144 | 9,318 | 1,582,919 | △1,582,919 | — |
| 計 | 5,998,006 | 1,370,817 | 236,170 | 181,130 | 7,786,123 | △1,582,919 | 6,203,204 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 642,307 | 24,219 | 14,379 | 11,767 | 692,674 | △17,662 | 675,012 |

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△17,662千円には、セグメント間取引消去△17,662千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高) (単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----|-----------|---------|---------|---------|-----------|
| | 日本 | アジア | 欧州 | 北米 | 合計 |
| 売上高 | 4,812,509 | 791,175 | 345,759 | 253,760 | 6,203,204 |

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期 連結損益計 算書 計上額 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 日本 | アジア | 欧州 | 北米 | 合計 | | |
| 売上高(注2) | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,244,224 | 1,252,671 | 171,754 | 128,829 | 4,797,479 | — | 4,797,479 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1,394,368 | 97,274 | 7,383 | 9,607 | 1,508,633 | △1,508,633 | — |
| 計 | 4,638,592 | 1,349,945 | 179,138 | 138,437 | 6,306,113 | △1,508,633 | 4,797,479 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 69,079 | 14,999 | 204 | △4,506 | 79,776 | △1,231 | 78,545 |

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△1,231千円には、セグメント間取引消去△1,231千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高) (単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----|-----------|---------|---------|---------|-----------|
| | 日本 | アジア | 欧州 | 北米 | 合計 |
| 売上高 | 3,545,140 | 723,961 | 304,846 | 223,530 | 4,797,479 |